



スリーアール

# 10月は「3R推進月間」 &「食品ロス削減月間」です

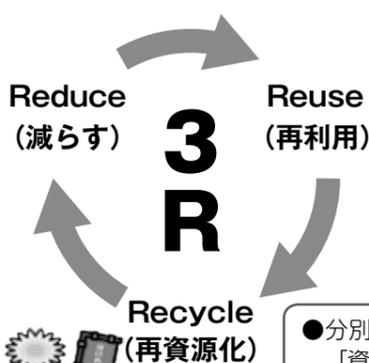


詳しくはリサイクル推進課 ☎728-1902

環境への負担を軽減し、限りある資源を有効に活用する「循環型社会」の実現に向けて、日常生活で出るごみを減らすため、「3R」に積極的に取り組みましょう。

一人ひとりができることから少しずつ、意識して取り組んでいくことが重要です。

- 生ごみの「水切り」を行う。
- 生ごみ処理容器や生ごみ減量化機器を利用する（購入には補助金制度があります）。
- 買い物にマイバッグを利用する。



- 壊れたものを修理して使う。
- 使わなくなったものを人に譲る。
- フリーマーケットサイトで売ったり、リサイクルショップに持ち込んだりする。
- 詰め替え用の製品を利用する。

## ごみを減らすことのメリット

- ・ 生ごみ処理にかかっているお金を減らすことができます。
- ・ 環境への負荷（二酸化炭素などの排出量）を減らすことができます。
- ・ 限られた資源の節約になります。



- 分別を徹底し、資源になるものは「資源」として出す。
- スーパーマーケットなどの店頭回収を利用する。
- 公共施設に設置された回収ボックスを利用する。

## レジ袋の有料化について

海洋プラスチックごみや地球温暖化などの環境問題を背景に、プラスチックの過剰な使用を抑制するため、令和2年7月1日より、全国でレジ袋の有料化が始まりました。

「外出の際は常にマイバッグを携帯する」というライフスタイルを定着させましょう！

## 「食品ロス」について考えよう

「食品ロス」とは、まだ食べることができるのに廃棄される「食品」のことです。

日本では年間約612万トンの食品ロスが発生（平成29年度推計）しており、一人あたり1日に、お茶わん約1杯分（約132g）の重さの食べ物が捨てられている現状があります。



## 食品ロスを削減するための取り組み

食べものを「買いすぎない」「作りすぎない」「食べきる」ことを意識することが大切です。

### 家庭での取り組み

- ・ 食材の在庫確認をし、必要な分だけ買う。
- ・ 食材を適切な方法で保存する。
- ・ 期限の近い食材から使用する。
- ・ 食べきれない量を調理する。

### 外食時の取り組み

- ・ 食べきれない量を注文する。
- ・ 食品ロス削減に取り組むお店を選ぶ（料理の量を選べる、持ち帰ることができるなど）。

### その他の取り組み

- ・ 給食を残さず食べる。
- ・ 食品をフードバンクなどへ寄付する。



### 「食品ロス」削減に取り組むと…

- ・ ごみを減らすことができ、環境への負荷も軽減できます。
- ・ 食品の「買いすぎ」を減らすことで食費の節約につながります。

## 「新しい生活様式」での食品ロスの削減の工夫

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため「3密の回避」や「人と人との距離を確保する」など「新しい生活様式」が求められています。

事業者の中には、行き場を失った農水産物や加工食品を食品ロスにしないためにテイクアウトやデリバリー、インターネットなど販売方法を工夫しているお店があります。

こうしたサービスを利用したり、家庭で購入した食品を使い切ったりするなどの工夫をすることで、食品ロスについて考え、減らす取り組みをしていくことが重要です。

使用済みマスクのポイ捨ては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からも絶対にやめましょう！

全市民対象  
10月20日(火)から

# インフルエンザ予防接種費用を助成します

いきいき3p

インフルエンザの予防接種は、効果や副反応などを理解したうえで、受けてください。



例年実施している65歳以上を対象とした「高齢者インフルエンザ予防接種」に加えて、今年度は「桶川市新型コロナ対策支援パッケージ」の一環として、全市民を対象とした接種費用の助成を行います。

対象者ごとに助成額、実施医療機関などが異なります。ご注意ください。

①マークが付いている対象者（下記の表内）は、自己負担額となります。

対象者	助成・自己負担額など	助成方法	実施医療機関	予防接種時に持参するもの
1歳～3歳	1回あたり1,500円（2回まで）	実施医療機関において、費用の一部を助成します。助成額を差し引いた額を医療機関の窓口でお支払いください。	桶川市、北本市、伊奈町、鴻巣市の実施医療機関	「健康保険証」など（年齢と桶川市民であることが確認できるもの）
4歳～12歳	1回あたり1,000円（2回まで）		市内の実施医療機関	
13歳～59歳	1,000円			
中学3年生	3,000円			
60歳～64歳	1,000円	実施医療機関の窓口で自己負担額をお支払いください。	市内、市外の実施医療機関	身体障害者手帳
① 60歳～64歳（心臓、腎臓、呼吸器の病気またはHIVウイルスによる免疫機能の障害により、身体障害者手帳1級を持つ人）	自己負担額 1,000円			「健康保険証」など（年齢と桶川市民であることが確認できるもの）
① 65歳以上	自己負担額 1,000円			

【接種期間】 10月20日(火)～令和3年1月31日(日)

【申込み】 予防接種を希望する人は、直接、実施医療機関へ。（※要電話予約）

※①マークの人で市外の実施医療機関を希望する場合は、健康増進課へ問い合わせてください。

※②マークの人で生活保護受給者は無料になります（受給者証を医療機関窓口で提示してください）。

## 市内実施医療機関

医療機関名	電話	医療機関名	電話
朝日内科歯科医院	774-9385	栗原クリニック	786-2168
いけだファミリークリニック桶川	788-1167	小島医院	771-1212
大谷記念病院	728-2411	埼玉県中央病院 ※4	776-0022
大野整形外科	728-1611	坂部医院	771-1055
岡田整形外科	776-2222	鈴木内科医院	787-3000
おかべ耳鼻咽喉科医院	772-3492	田中胃腸医院	771-1037
桶川駅前こどもクリニック ※1	789-3222	豊田医院	728-2377
桶川K.Nクリニック	787-7715	なかた呼吸器科内科クリニック	729-2811
桶川中央クリニック	786-6628	府川医院	786-2672
桶川西口クリニック	789-5777	ベニバナファミリークリニック	787-0002
桶川日出谷診療所	786-7715	ゆげクリニック	777-3000
上日出谷榎原整形外科 ※2	789-2200	渡辺医院	787-2181
川田谷クリニック	787-2531		
神崎皮フ科クリニック	778-3911		
蔵田医院 ※3	771-1446		

※1 桶川こどもクリニックでは、満1歳～年長児のみ接種できます。

※2 上日出谷榎原整形外科では、15歳以上が接種できます。

※3 蔵田医院では、3歳以上が接種できます。

※4 埼玉県中央病院では、16歳以上が接種できます。